

郡山普及だより Yes! 農!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1
TEL:024-935-1321 FAX:024-935-7030

おめでとうございます! 「中野生産組合」が全国そば優良生産表彰を受賞!



代表の桑名組合長（左）と渡部所長（右）

郡山市湖南町の中野生産組合が、令和元年度第31回全国そば優良生産表彰事業（一般社団法人日本蕎麦協会主催）において、一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞を受賞しました。

表彰式が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことから、3月31日に渡部県中農林事務所長（当時）から桑名秀一郎組合長へ賞状が伝達されました。中野生産組合は、郡山市湖南町で水田転作と遊休農地化防止の観点からそばを約70ha栽培し

ており、県内屈指の生産規模を有した活動が評価されました。

今回の受賞は、県内で4年ぶり14件目となり、会津地方以外では初の受賞です。

よろしくお願いします! 新指導農業士（本田健治さん）



本田健治さん

令和元年度の新しい県指導農業士に本田健治さんが認定されました。

本田さんは、喜久田地区において、水稻の基本技術を励行した気象変動に左右されない栽培で、堅実な農業経営を実践するとともに、水稻種子生産に25年にわたり従事し、責任ある高品質な種子生産を行っています。また、青年農業士として10年間活動し、郡山市青年農業士会長を2年間務め、郡山地域の若い後継者・青年農業者をまとめてこられました。

今後は、県指導農業士として農業後継者の育成指導や農業短大生農家留学研修等の活動に協力いただく予定です。

エフギャップ

F G A P を取得して～ナシ栽培の経営改善に効果アリ!～



阿部智輝・理恵子夫妻

郡山市熱海町で日本なしを72a栽培する阿部智輝さんは、平成31年2月にF G A Pを取得されました。

F G A P 認証取得のきっかけは、「消費者の方へ安全安心の周知を進めるには、目に見える評価があると消費者に説明しやすい。放射性物質対策に対応したF G A Pの存在は大きい。」と考えてのことでした。

F G A P を取得してみて、「年間のスケジュールが明確化され作業が遅れることがなくなった。」「今までバラバラに置いていた道具は作業動線を

考えて道具の配置を見直し、作業時間を短縮、農薬や肥料のリスト化で、費用を削減できた。」「消費者の方に根拠を持って安心安全を薦めることができるようになった。」など、自信を持って販売をすることができるようになったそうです。阿部夫妻は、引き続きG A Pの取り組みを通して、安全安心のP Rに活用しながら自身の経営の改善にもつなげていきたいと意気込みを語っておられました。

G A Pにご関心があれば、農業振興普及部までお問い合わせください。

水稲新品種「^{ふく}福、^{わらい}笑い」の先行栽培が郡山市で始まる

福島県オリジナル水稲品種「福、笑い」は、「コシヒカリ」並の良食味で強い甘みと独特の香り、柔らかめの食感などの特徴を持つ、本県トップブランド向けとして開発された水稲新品種です。

トップブランドでの販売を目指すため、調製基準（ふるい目1.9mm以上、玄米タンパク質6.4%以下）が定められ、生産にあたっては第三者認証G A Pを取得した生産者3名以上で構成した研究会をオリジナル米生産販売推進本部へ登録する必要があるなど、厳しい基準が設けられています。

本年度は先行栽培で、次年度から本格栽培開始となります。当管内ではA S A K A M A I 887G A P 部会長である遠藤昭夫氏に先行栽培の現地実証ほを依頼し、5月22日に田植えが行われました。当日はJ A 福島さくらの広報担当者も取材に訪れており、「福、笑い」への期待の大きさが伺えました。田植え作業は無事終了し、現在、順調に生育中です。



田植え中の遠藤昭夫氏

米の全量全袋検査がモニタリング検査に移行



ゲルマニウム半導体検出器による検査（イメージ）

福島県では、平成24年産米から米の放射性セシウム全量全袋検査を実施してきましたが、平成27年産米以降、通算5年間、基準値超過は発生していません。この結果等を踏まえ、一部地域（避難指示等があった12市町村）を除いて、全量全袋検査からモニタリング検査（抽出検査）に移行します。モニタリング検査は、昭和25年時点の旧市町村単位に3点、県が放射性物質検査を行い、旧市町村毎に米の出荷・販売の可否を判断します。生産者のみなさまにおかれましては、旧市町村毎の検査結果が判明するまで、当該旧市町村産の米は出荷販売（無償での譲渡も含みます）しないようお願いします。

福島県では、平成24年産米から米の放射性セシウム全量全袋検査を実施してきましたが、平成27年産米以降、通算5年間、基準値超過は発生していません。この結果等を踏まえ、一部地域（避難指示等があった12市町村）を除いて、全量全袋検査からモニタリング検査（抽出検査）に移行します。モニタリング検査は、昭和25年時点の旧市町村単位に3点、県が放射性物質検査を行い、旧市町村毎に米の



米モニタリング
QRコード

URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035b/kome-monitoring-tirashi.html>

郡山地域で設置する実証ほの紹介 ～カンパニユラの摘芯・電照栽培～

郡山地域の花きは、水稻との複合経営で夏秋トルコギキョウが栽培されていますが、冬期施設を有効活用した収益性の向上を目的に、トルコギキョウの後作として、低温開花性花きであるカンパニユラを導入し、花きの周年出荷を目指しています。

カンパニユラは、低温に遭遇しなくても長日条件で開花する品種を導入（10月定植）し、電照により長日環境を作り、摘芯栽培により多本仕立てとし、少ない定植本数（慣行の1/4）で収穫量を確保する技術の実証栽培を行いました。



切り花品質



赤色 LED 電球による電照

その結果、高単価が期待できる4月からの出荷ができ、収穫本数も慣行栽培と同程度以上となることがわかりました。

今後は、パイプハウスを周年利用する、冬春期の花き品目の1つとして推進したいと思います。

県中農林事務所からのお知らせ

県中農林事務所では農業の新型コロナウイルスに関する相談を受け付けております。何か相談がございましたら、下記の電話番号にお問い合わせください

電話番号 024-935-1301 受付時間 8:30~17:15 (土日祝は除く)

「郡山農研ネットワーク」のメンバー募集!

研修会の実施や各種の施策情報提供などを行っております。農業経営のスキルアップや交流の場として是非参加してみませんか?興味がございましたら、下記のアドレスまたは電話番号にご連絡ください。(担当:小松)

Email shinkouhukyu.af02@pref.fukushima.lg.jp 電話番号 024-935-1310

職員紹介

今年度、農業振興普及部26名で活動をしていきます。よろしくお願いたします



農業振興課職員



部長、副部長、地域農業推進課、経営支援課職員

所属	職名	氏名	
農業振興課	部長	古川 勝弘	
	副部長	岩沢 正浩	■
	課長	黒津 賢治	
	主査 (キャップ)	角田 明子	■
	主査	吉田 美文	
	主査	山口 茜	
	主査	武藤 景子	■
	主査	中澤 亮平	
	技師	有我 桃子	
	主事	小檜山海斗	
営農再開支援専門員	菅野 廣和		

所属	職名	氏名	専門	
地域農業推進課	課長	山田 英雄	作物	
	主査 (キャップ)	岡田 初彦	果樹	■
	主査	内田 研一	畜産	■
	主査	手塚佐知子	作物	
	主査	横尾 達也	作物	
	技師	小松 一樹	畜産	
	専門員	佐藤 一雄	作物	
経営支援課	課長	菊池 正	野菜特産	■
	主査 (キャップ)	高倉 麻紀	作物	■
	主査	諸橋 武明	野菜特産	
	主査	我孫子佳央里	果樹	■
	技師	吉岡 尚	野菜特産	
	技師	大森 千明	果樹	○
	専門員	佐久間光子	花き	
専門員	増子 俊明	果樹	■	

転任者 ■
新規採用者 ○